

老後資金準備金額確認シート

<質問>

世帯主年齢

35 歳

老後資金として準備している金額

16,200,000 円

(教育資金や住宅資金などは除く)
※退職金等がある場合は含める

収入について

世帯主の年金

①世帯主の国民年金の未納月数は?

24 ヶ月 (例: 大学1,2年次などの学生納付特例期間分)

②世帯主の厚生年金の加入月数は? (今後の予定含む)

120 ヶ月 (例: 企業等に勤務していた期間)

③厚生年金に加入時の平均年収は?

3,000,000 円

配偶者の年金について

④国民年金の未納月数は?

24 ヶ月 (例: 大学1,2年次などの学生納付特例期間分)

⑤厚生年金の加入月数は? (今後の予定含む)

60 ヶ月 (例: 企業等に勤務していた期間)

⑥厚生年金加入時の平均年収は?

2,500,000 円

※配偶者がいない場合は空欄

その他

⑦子供や親族からの援助や相続はありますか?

0 円 (総額)

支出について

⑧何歳までの老後資金準備を想定しますか?

100 歳 (おススメは90~100歳)

⑨65歳以降の毎月の生活費はいくらを想定しますか?

220,000 円 ※生活費=食費や光熱費、住宅費など毎月一定でかかる金額
(一般的には一人暮らし16万円、二人暮らしは22万)

⑩予備資金はいくらを想定しますか?

10,000,000 円 ※リフォームや介護費用など

⑪その他の支出はいくらくらいありますか?

3,000,000 円 ※車の買い替えや旅行など

試算結果

老後年金収入合計

老後支出(生活費)合計

¥60,022,988 円

- ¥92,400,000 円

=

準備金

¥16,200,000 円

- ¥13,000,000 円

=

5年繰り下げ受給した場合

結果

老後年金収入合計

老後支出(生活費)合計

¥73,056,551 円

- ¥79,200,000 円

=

準備金

¥16,200,000 円

- ¥26,200,000 円

=

老後年金準備金額

¥32,377,013

下がーの場合は実質 ¥29,177,013

老後一時資金準備金額

¥-3,200,000

もし毎月準備するなら・・・

利率 0 % 3 %で運用

¥81,047 ¥51,107

合計 合計

¥81,047 ¥51,107

老後年金準備金額

¥6,143,450

老後一時資金準備金額

¥10,000,000

もし毎月準備するなら・・・

利率 0 % 3 %で運用

¥17,065 ¥10,761

¥27,778 ¥17,516

合計 合計

¥44,843 ¥28,277

〈計算式詳細〉

収入

【世帯主】

$$\begin{array}{rclclclclcl} \text{基礎年金} & 480 & - & 24 & = & 456 & & & \\ & (\text{ヵ月}) & & \text{①}(\text{ヵ月}) & & \downarrow & & & \\ & & & & & 456 & \times & 1625 & = \\ & & & & & & & (\text{円}) & \\ & & & & & & & & \mathbf{741,000} \text{ 円} \cdots \text{a.世帯主の基礎年金} \end{array}$$

$$\begin{array}{rclclclclcl} \text{厚生年金} & 120 & \div & 12 & \times & 3,000,000 & \times & 0.005481 & = \\ & \text{②}(\text{ヵ月}) & & (\text{ヵ月}) & & \text{③}(\text{円}) & & & \\ & & & & & & & & \mathbf{164,430} \text{ 円} \cdots \text{b.世帯主の厚生年金} \end{array}$$

繰り下げ受給した場合

基礎年金 31,566,600
厚生年金 7,004,718

【配偶者】

$$\begin{array}{rclclclclcl} \text{基礎年金} & 480 & - & 24 & = & 456 & & & \\ & (\text{ヵ月}) & & \text{④}(\text{ヵ月}) & & \downarrow & & & \\ & & & & & 456 & \times & 1625 & = \\ & & & & & & & (\text{円}) & \\ & & & & & & & & \mathbf{741,000} \text{ 円} \cdots \text{c.配偶者の基礎年金} \end{array}$$

$$\begin{array}{rclclclclcl} \text{厚生年金} & 60 & \div & 12 & \times & 2,500,000 & \times & 0.005481 & = \\ & \text{⑤}(\text{ヵ月}) & & (\text{ヵ月}) & & \text{⑥}(\text{円}) & & & \\ & & & & & & & & \mathbf{68,513} \text{ 円} \cdots \text{d.配偶者の厚生年金} \end{array}$$

$$\begin{array}{rclclclclcl} \mathbf{a+b+c+d} & \times & 0.9 & = & \mathbf{¥1,714,943} & \times & 35 & = & \mathbf{¥60,022,988} \text{ 円} \cdots \text{e.年金収入合計} \\ & & (\text{社会保険料等分}) & & & & \text{⑧-65歳(年)} & & \end{array}$$

繰り下げ受給した場合

基礎年金 31,566,600
厚生年金 2,918,633

その他

⑦子供や親続からの援助や相続 ¥0 円 $\cdots$ f

$$e+f = \mathbf{¥60,022,988} \text{ 円} \cdots \text{老後収入}$$

※基礎年金はこれから未納は無い前提

※任意加入は考慮しない

※厚生年金はこれまでの加入年数に加えて今後法人化する場合はその予定の月数を加えて平均年収にも反映させる

※基礎年金の未納分や厚生年金の加入月数はねんきん定期便やねんきんネットで確認ができます

※繰り下げ受給時の加給年金等の調整は考慮していない

支出

$$\begin{array}{rclclclclcl} \text{生活費} & 220,000 & \times & 12 & = & \mathbf{¥2,640,000} & \times & 35 & = \\ & \text{⑨}(\text{円/月}) & & \text{ヵ月} & & (\text{円/年}) & & \text{⑧-65歳(年)} & \\ & & & & & & & & \mathbf{¥92,400,000} \text{ 円} \cdots \text{g.生活費合計} \end{array}$$

予備資金 ¥10,000,000 円 $\cdots$ h

$$\begin{array}{rclclclclcl} \text{その他支出} & \mathbf{¥3,000,000} \text{ 円} & \cdots \text{i} & & & h+i & = & \mathbf{¥13,000,000} \text{ 円} \cdots \text{まとまった資金合計} \end{array}$$